

専門部会 B の検討状況報告 「安心して子育てできる環境づくり」

I 部会での検討の経緯について（説明者 今井部会長）

テーマの主旨 ⇒ 課題の把握

人口と就学前児童数の推移

子育てに関するアンケート結果

検討5項目（乳幼児期における環境、保護者の問題を中心にした）

II 具体的な検討状況について（説明者 1～2酒井委員、 3～5成田委員）

検討1 子どもと共に過ごせる安心・安全な環境整備と子育て交流の場づくり

課題：安心・安全な環境整備

○安心してベビーカーで行動することや乳幼児を持つ親だけでなく、全ての人に対し負担が少なく安全に行動できるよう、駅や商店街を含めた道路整備の推進が必要ではないか。

○子ども達や保護者の交流の場の一つでもある公園について、死角をつくらず、世代を超えて安全に遊べる場として魅力ある公園づくりを推進したい。

○お寺や神社の場の活用も良いのでは。

課題：交流の場の問題

⇒ 子育て広場、母親クラブなどの現状の説明。

○子育ての楽しみや喜びを分かち合える場として、ベビーカーで歩いていける小学校区に子育て広場などの交流の場が各一ヶ所あると良い。

（全体会で）意見をいただきたい事項

地域での子育て支援、交流の場として、どのような地域資源を活用し、利用したらよいか。

検討2 子どもの豊かな心をつちかう環境づくり

○子ども達の0歳から3歳までに形成される豊かな人間性を育む心の教育の一つとして絵本の読み聞かせの推進。

（全体会で）意見をいただきたい事項

子ども達の豊かな心をつちかう方法として読み聞かせのほかにはどのようなものがあるか。どう活用していくと良いか。

検討3 家にいるお母さん・お父さんの精神的なサポートを含めた支援と情報発信

課題：孤立、子育てに不慣れな保護者が増えている中で、今現在、どんな支援が必要としているのをしっかりと知る必要がある。

○子どもの定期健康診査の際にアンケートを実施して、その年齢に合わせた問題点をとっていくことでニーズにあった課題が見えてくるのではないか。

○情報が氾濫し、本当に必要なものがわからなくなるが、子育て広場等でのイベントや情報がうまく活用されると良いのではないか。

（全体会で）意見をいただきたい事項

紙媒体やITをもっとうまく利用する方法はないだろうか。

検討4 働くお母さん・お父さんの環境整備と支援

課題：約18%の方が保育園を利用、認可保育所申請者数は年々若干増し、待機児童数は減ってはいるがまだいる状況。

○保護者の働く形態に合わせた保育の充実、仕事や子育てをしやすい環境を整備する必要

○ふれあい子育てサポート事業について、シニア世代も巻き込みながら、区役所や市民館を会場に子育てヘルパー登録研修を増やして、子育てヘルパーの養成をしたらどうか。

（全体会で）意見をいただきたい事項

地域の力を借り子育て支援をしていくという点で、他にどのような団体の協力や、どのような仕組みが考えられるか。

検討5 地域に根ざした、世代を超えたサポート

○地域における主任児童委員や民生委員、地域教育会議等の協力、地域シニアの方にも協力してもらい、地域交流の薄い家庭とのつながりを、気軽な形で声掛けができる、地域での多世代によるサポートができると良い。

（全体会で）意見をいただきたい事項

地域やシニアの方々の力をどういう風にすれば協力いただけるか。

他にどのような団体の協力や、どのような仕組みが考えられるか。